

令和5年度

明保中学校

地域とともにある学校づくり

1年生

コミュニティ・スクールの充実

西東京ふるさと探究学習

単元名：**西東京市 活性化プロジェクト**
(活動名)

ねらい：自分たちが住む地域の良さや問題について考えたり、地域の活性化に向けて外部に魅力を発信したり、仲間や地域の人々といった他者と協働しながらイベントを企画・開催したりすることを通して、地域への愛着を深めるとともに、学んだことを生かしながら地域の活性化のためにできることを進んで考え、提案し、行動できるようにする。



【6月19日】「探究ガイダンス」

ペーパーブリッジコンテストを行い、「課題の設定」「情報の収集」「整理・分析」「まとめ・表現」という探究のプロセスを学びました。



【6月26日】「インタビュー調査の整理・分析」

地域住民へのインタビュー調査の結果をデータベース化するとともに、グラフや思考ツールを使って西東京市の良さや問題について整理・分析しました。



【7月14日】「活性化の見通しを立てる」

「クラスの活性化」をテーマに、活性化のゴールイメージと、問題を解決するための実現可能な取組案を考えることを通して、「アイデアの出し方」を学びました。



【9月4日】「西東京市紹介カードをつくろう」

今回は目指すべき「地域活性化」のイメージを明らかにするとともに、地域がもつ素材や文化、人的な資源について振り返る時間を設けました。



【9月8日】「プロジェクト案を考えよう」
地域の良さを伸ばしたり、問題を解決したりするための実現可能な取組（プロジェクト案）を考え、班ごとに発表しました。



【9月29日】「プロジェクトチームが発足」
地域活性化のために取り組みたい内容が近いメンバー同士で15個のチームを編成しました。クラスの枠を取り払うことで、同じ興味・関心をもつ生徒同士で主体的にプロジェクトを進めることができました。



【10月13日・16日】「探究課題の設定」
いつ、誰のために、どうやって行うのか、どんな結果が得られるのかなど、探究計画表を活用しながら自分たちの取組の見通しを立てました。



【10月23日】「ゲストティーチャーの授業」
“地域の飲食店とのオリジナルメニュー開発”を探究テーマに設定した班では、「めぐみちゃんメニュー事業」を行っている西東京市産業振興課の方々と、実際にメニュー販売を行っているカリーとデミ カサネヤさんをお招きし、メニュー開発のノウハウを教えてくださいました。

今後の方針 (R5.10.19)

地元野菜の活用を考える班、地域のお店とオリジナルメニュー開発をする班、近隣の保育園児や幼稚園児に向けたイベントを企画する班、ごみの削減に取り組む班、地域の祭りや行事を盛り上げる班など、15個のプロジェクトが進行中です。取組の見通しを立てる中で、生徒は「インターネットで調べるだけでは分からないことがある」ということに気がきました。今後は、地元農家や飲食店などの事業所と連携を図るとともに、地域コーディネーターなどの外部人材との関わりの中で、プロジェクトを実感豊かに進めていきます。3月15日(金)には探究発表会（報告会とイベント）を行う予定です。

地域活性化プロジェクト 探究テーマ一覧

地元野菜の活用 / 西東京市の野菜のPR / ハンドメイド作品や特産品の販売
西東京市のウォーキングマップの作成 / 西東京市のキャラクターPR 活動
地域の飲食店との共同メニュー開発 / 病院マップの作成 / ごみの削減
防犯対策・事故防止 / あいさつ運動 / 自然保護活動 / 公園の充実
地域の祭りや行事 / 地域の公園や遊び場 / 地域の子供との交流

課題の設定

・話し合い活動から

まちの美化、ごみの削減をテーマにした班では、「西東京市のどこに、どのくらいごみが落ちているのか」「捨てられやすいごみは何か」という問いから、市内を歩いて回り、調査することにしました。



・体験活動から

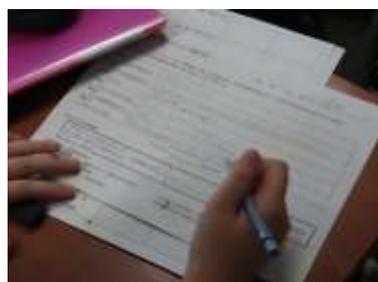
地域の祭りや行事をテーマにした班は、自ら地域の行事に参加することで、その行事を主催している人の思いや願いに触れながら、イベントを企画する上での工夫や課題について考えることができました。

・街頭調査の結果から

学校周辺で西東京市のキャラクターの知名度調査を行いました。これらの結果をもとに、どの世代に、どのキャラクターをPRすればいいかを明らかにしました。



見通し



・5W1Hに基づき、実現可能性を高める

その取組で得られる効果やターゲット、いつ・どこで・どのように行うかを具体的に考えることで、見通しをもちながら、探究計画を作成することができました。

情報の収集

• インターネットで

ふと疑問に思ったことなどを瞬時に検索できるのがインターネットの利点です。

しかし、その情報が確かなものかどうか、他人の権利を侵害していないかなど、適切に扱わなければいけません。



• 書籍などの資料で

オリジナルメニュー開発の班では、西東京市の「めぐみちゃんメニュー事業」のパンフレットなどを参考に、協力店舗やメニュー案を検討しました。

保谷駅周辺の洋菓子屋、菓子工房 KIKUCHIさんと、田無駅近くのカレー屋、カレーとデミ カサネヤさんにご協力いただけることになったようです。

• 観察や実験で

自然保護活動をテーマにした班では、冬から春にかけて育つ植物を育成することにしました。まずは土づくりを行い、観察記録をつけていくようです。



• 個人インタビューで

小学生との交流イベントを企画する班では、碧山小学校の先生にお時間をいただき、イベントの日時や、児童が興味のあるもの、行事を実施する上で必要なことについて相談し、打ち合わせを行いました。

• フィールドワークで

まちの美化、ごみの削減をテーマにした班では、実際に市内を回り、落ちているごみの種類や、ごみが捨てられやすい場所について調べました。

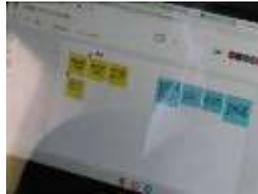
地域の公園や遊び場をテーマにした班では、休みの日に市内を回り、写真を撮影してきたようです。



整理・分析

• 地図を用いて

規格外野菜の活用をテーマにした班では、インターネット等で調べた市内の農家や子ども食堂の位置を、地図上に付箋を貼り整理しました。



• データベースや思考ツールで

まちの美化、ごみの削減をテーマにした班では、市内に落ちていたごみの種類・場所をデータベースで集約しています。また、地域の公園や遊び場をテーマにした班では、撮影した写真を Google Drive (クラウド) に保管して共有しているようです。

他の班でも、他教科の授業で扱った Jamboard の付箋機能を、「決定したこと」「まだ決まっていないこと」などと思考ツールのように入れて整理・分析していました。



まとめ・表現

• パンフレットやポスターで

各プロジェクトの成果物が形になってきました。「設置しやすく、気軽に手に取れるからパンフレットにしよう」「多くの人に見てもらえるからポスターがいいな」など、目的や場所、ターゲットによって形はさまざま。手描き・デジタルも、それぞれの良さや欠点をふまえて選択していました。



• スライドや動画で

パンフレットやポスターでは出せない、動きや奥行きをもたせる方法です。3月の最終報告会では、各プロジェクトがスライドを用いて半年間の取組の成果を報告します。説得力のある発表に期待ですね。

• イベントの企画で

3/15(金)に、『探究発表会』というイベントを実施予定です。ハンドメイド作家さんや地域の事業所、他学年にも協力をいただきながら、自分たちで「地域活性化プロジェクト」の成果を発信します。